

# Public Voices 声のらん

皆さんの「声」にお答えします。

《声のらん》では、「市長への手紙・ポスト」などに寄せられた声とその答えの中から、市民の皆さんの参考になる問答をご紹介します。(内容確認のため、連絡先と名前をご記入ください。)  
【〒066-8686 / 東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課宛】

## 千歳市若返り学園の活動内容や入会方法を教えてください。

〔60歳代／男性〕

**声** 《千歳市若返り学園》に入会した知人が、いつも生き生きと活動をしていきます。私も入会したいと考えています。活動内容を教えてください。また、入会手続はどこで行ったらよいですか。

**答** 《千歳市若返り学園》は、市内居住の60歳以上の方を対象とする学びと生きがいづくりの場です。社会見学、パークゴルフ、学園祭、サークルなどさまざまな活動を行っています。平成31年度の入会受付は、4月2日から12日まで生涯学習課窓口などで行います。

お答えします

生涯学習課社会教育係  
☎(24)08448 FAX(27)3743



千歳市若返り学園開講式

昭和49年に開設され、来年度で45年目を迎える《千歳市若返り学園》は、毎年4000名以上の会員が在籍しています。

活動内容は、講演会、映画鑑賞会、パークゴルフ大会、社会見学会、合同ハイキング、ゲーム大会、学園祭などの

《学園行事》、市内7地域ごとに行われるハイキングなどの《学級行事》、学園入会者で希

望する方が通年で参加できる短歌、俳句、書道、合唱、ダンス、絵手紙、健康体操の《サークル活動》があります。入会の受付は、左の表のとおり行います。受講料1200円（社会見学など別途自己負担あり）を添えてお申し込みください。現在会員の方も手続が必要で、また、受付期間が過ぎると入会できませんのでご注意ください。

受付日程	時間	受付場所
4月2日～12日	9時～17時 ※土・日除く	生涯学習課 (市役所第2庁舎2階)
4月3日(木)	10時～11時30分	北新コミセン
4月4日(金)		泉沢向陽台コミセン
4月5日(土)		鉄東コミセン
4月8日(月)		総合福祉センター307号
4月9日(火)		花園コミセン
4月10日(水)		北桜コミセン
4月11日(木)		富丘コミセン



新市史下巻発刊に向けて

シリーズ最終回(全12回)  
美笛川をとりこんだ  
千歳川  
筆者・田村俊之

市史編さん担当  
☎(24)0523 FAX(42)3134

**水** 中にバイカモが白い可憐な花をつけ、秋にはサケが遡上する清冽な流れ千歳川。誰もがその清流の水源は支笏湖だと思っています。

しかし、河川法からみると国が管理する1級河川の千歳川は違った姿を示します。昭和9年、法の上では支笏湖は千歳川の一部になりました。昭和42年、支笏湖に入る美笛川は政令によって河口から上流のソウオン美笛川との合流点まで千歳川に組み込まれました。

なぜ千歳川の範囲を延伸したのでしょうか。昭和40年9月10日午後11時ごろ、台風23号の豪雨で美笛川が氾濫。千歳鉱山の住宅地が濁流に襲われ6戸が流失、50戸が半壊するなど大きな災害になりました。

この被害により国は美笛川を1級河川千歳川として管理すべきと判断したようです。

一方、河川史からみると美笛川は支笏湖に流入する川の一つにすぎません。本来、支笏湖を発する流れこそが地史の示す千歳川であり、アイヌ文化が語り伝えてきたシコツ(千歳)川ということができます。美笛川が千歳川に改編された後、千歳川の水源は支笏湖を通り過ぎ、さらに上流のフレ岳付近になっています。なお、国土地理院は平成30年発行の地図から美笛川の名称を削除し千歳川に改定しました。



昭和40年美笛川の氾濫による大きな被害

今回でこのシリーズは終了です。ちとせの戦後史は、まもなく発刊予定の《新千歳市史 通史編 下巻》に詳しく掲載しています。ぜひご一読ください。